

小野の山町
浮世源氏
繪
初編
京の作豊國
珠屋清徳

^ 13
3743
1



Gōkan: (No. 006)
Ukiyo Genji-E
Book 1---11.



京山作

板元
森治

上

牛
心
藏

門八13
號 3743
卷 1

景勳

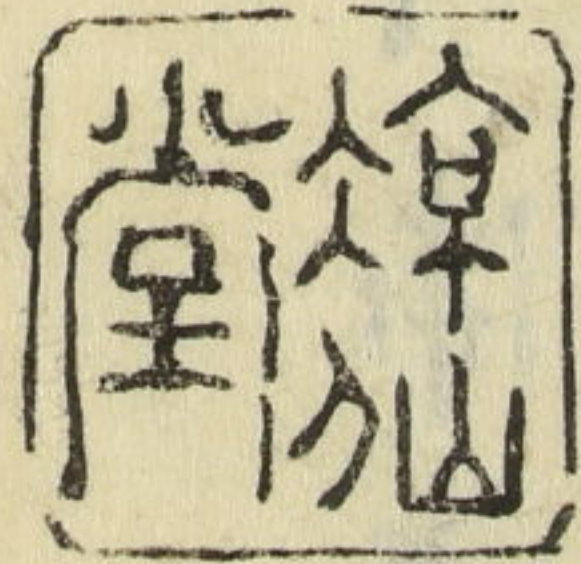


遠以眉黛好年微連皓
畫朱唇素色鮮汗溫紅
粧赤帶露雲鬟綠掠
柳拖烟恍如乞旦飛瓊
侶疑是塔玄滴降仙

歩 棧 麥 翹 金 鳳 舞 何
殊 風 拂 一 枝 蓮

又 政 宣 之 至 日

涼 儼 二 史 録

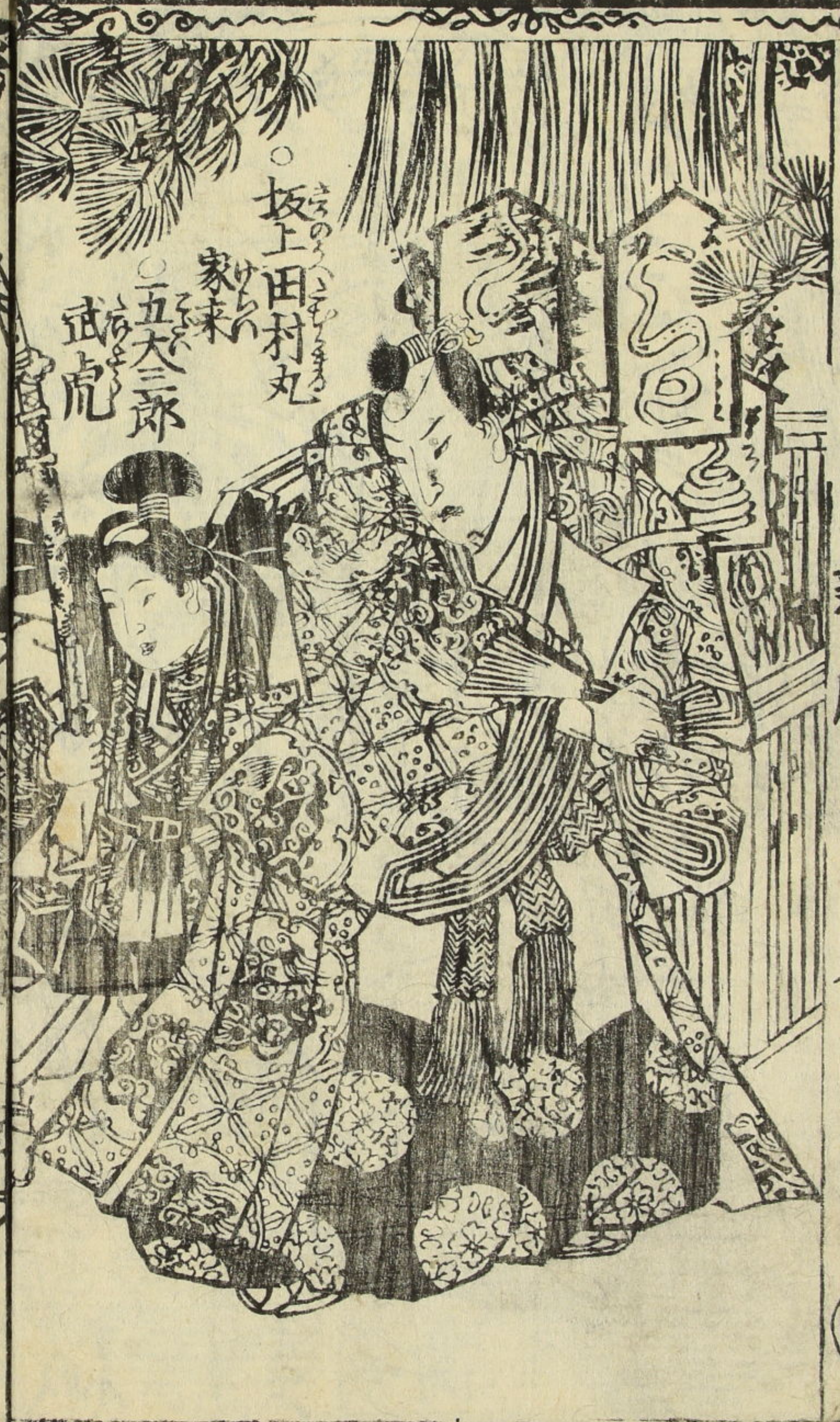


小野のこの小町こまちのことよもぎのめく定さだめめく定さだめめく定さだめめく定さだめめく
王造といふおん君きみにつてまでこ此この文ぶん清せい行ぎやうのことりといふの説れば
ぞも高野たかの大師だいしの御作しやくの目録ろくの目録ろくの目録ろくの目録ろくの目録ろく
くまも更さらりて小町こまちのさらりるまの後ののりもや清也の始はりも
ほ下くだつまぐて草くさふの名な京山きやうざん撰せんるふ小町こまちハ仁明にめい文ぶん徳とくの比と
盛さか小こ徑けい之の遍へん照しょう業ごう平へいるのぶく謂いふといふの小町こまち家け集しゆ
古今ここん後ご集しゆ伊勢いせ物語ものがたり大和たいてい物語ものがたりあらどふこらといふもあらどふこらといふも
の歌うた無む名な抄しょう小こつと久く雨あめ乞このう云いふ小町こまちが家集しゆにのこらだら
数かず手て在あり京の好色いろ多おほく御中ごちゆう抄しょうのりらふ小こ野の良よし実みのく
女むすめ見みるの兵へい御ご抄しょうの名村むら親おやの古今ここんの序の衣通とほ姫ひめの多れん
あらどふこらといふも格かく支し抄しょう又また出で刺さ女むすめの化あらどふこらといふも景けい目め本ほん記き

百小



脱稿同秋上梓 新版 山東庵京山誌



○坂上田村丸

家来

○五大三郎

武虎



みどり
ふさ
そと
すく
えき
乃舟
我せの
こころ
ほろ
松ぞこひ

此の
袖中
まは
風土
記

此
後
王造小所



陸奥の夷
賊 萬太郎
鷹 武熊

野田の修行者
実様 眼快
太郎 山影

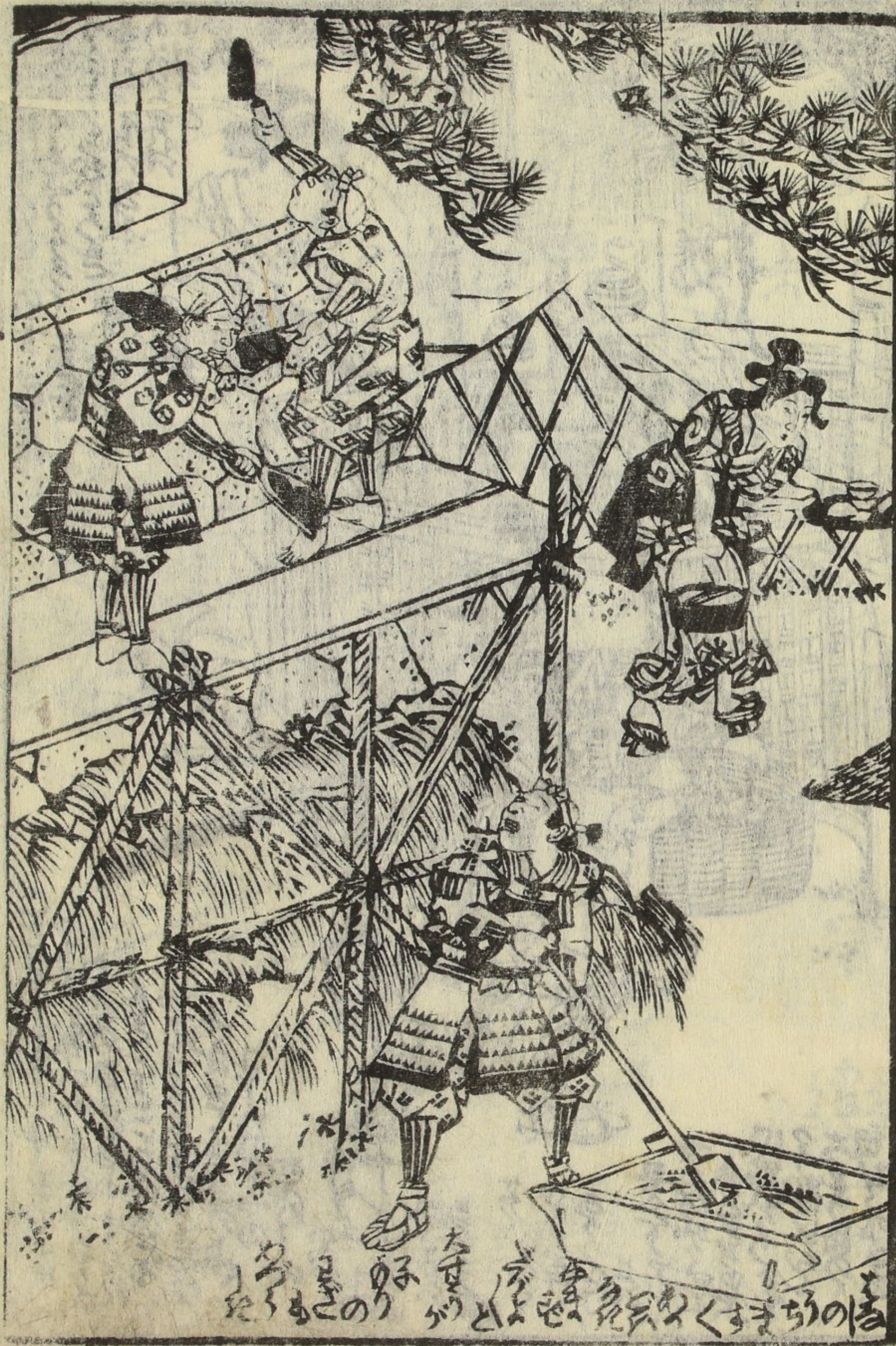
がま 焼く
ま みる



みちのくにをたづねて
あまをみる 万太郎の
系
小町
の集

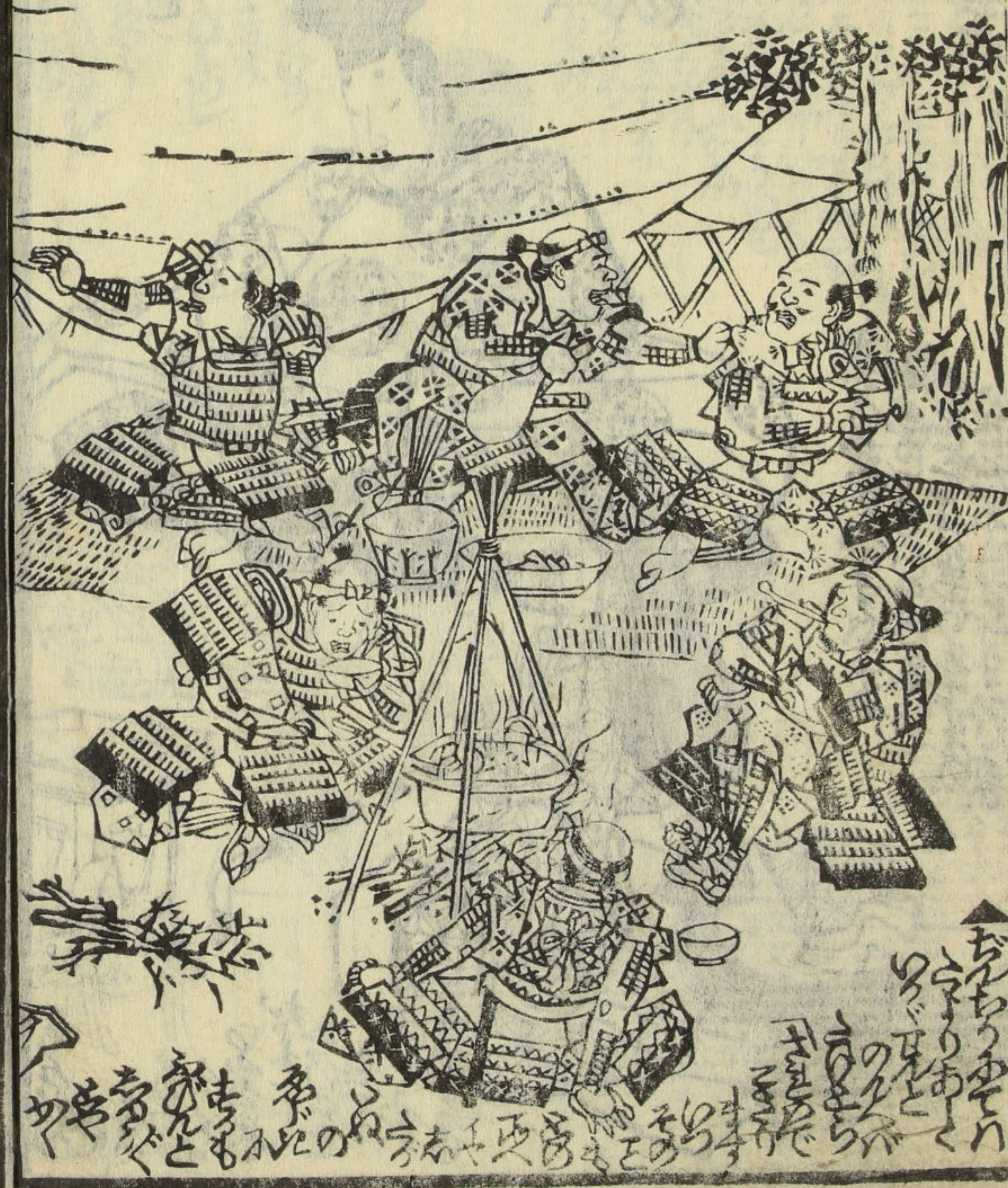
舟の師
善加
玉造小町

源氏

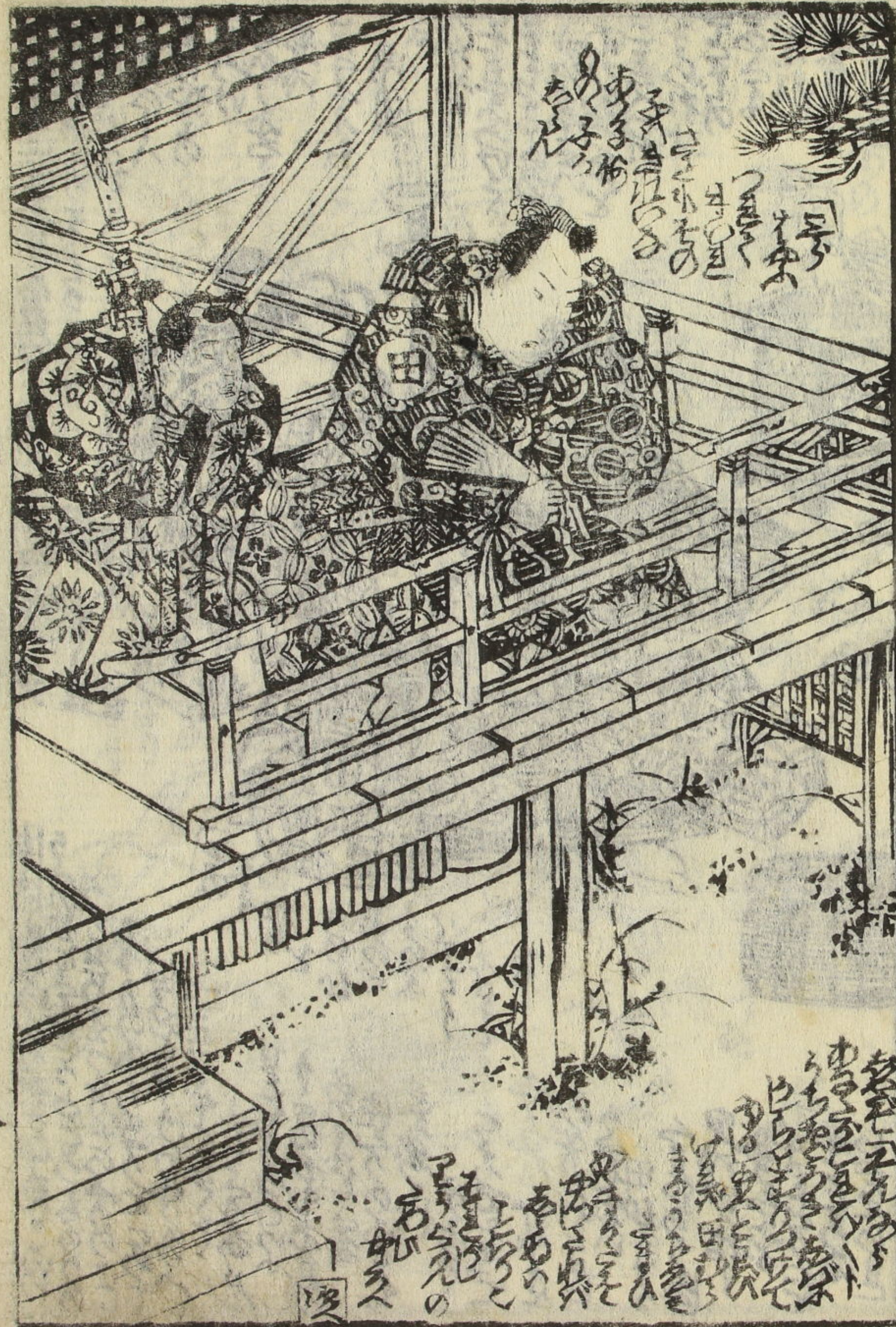


此の好
 奇の
 大なる
 事は
 多し
 故に
 其の
 名を
 好奇
 とす

田中
 子も
 あり
 其の
 名も
 あり
 其の
 名も
 あり
 其の
 名も
 あり
 其の
 名も
 あり

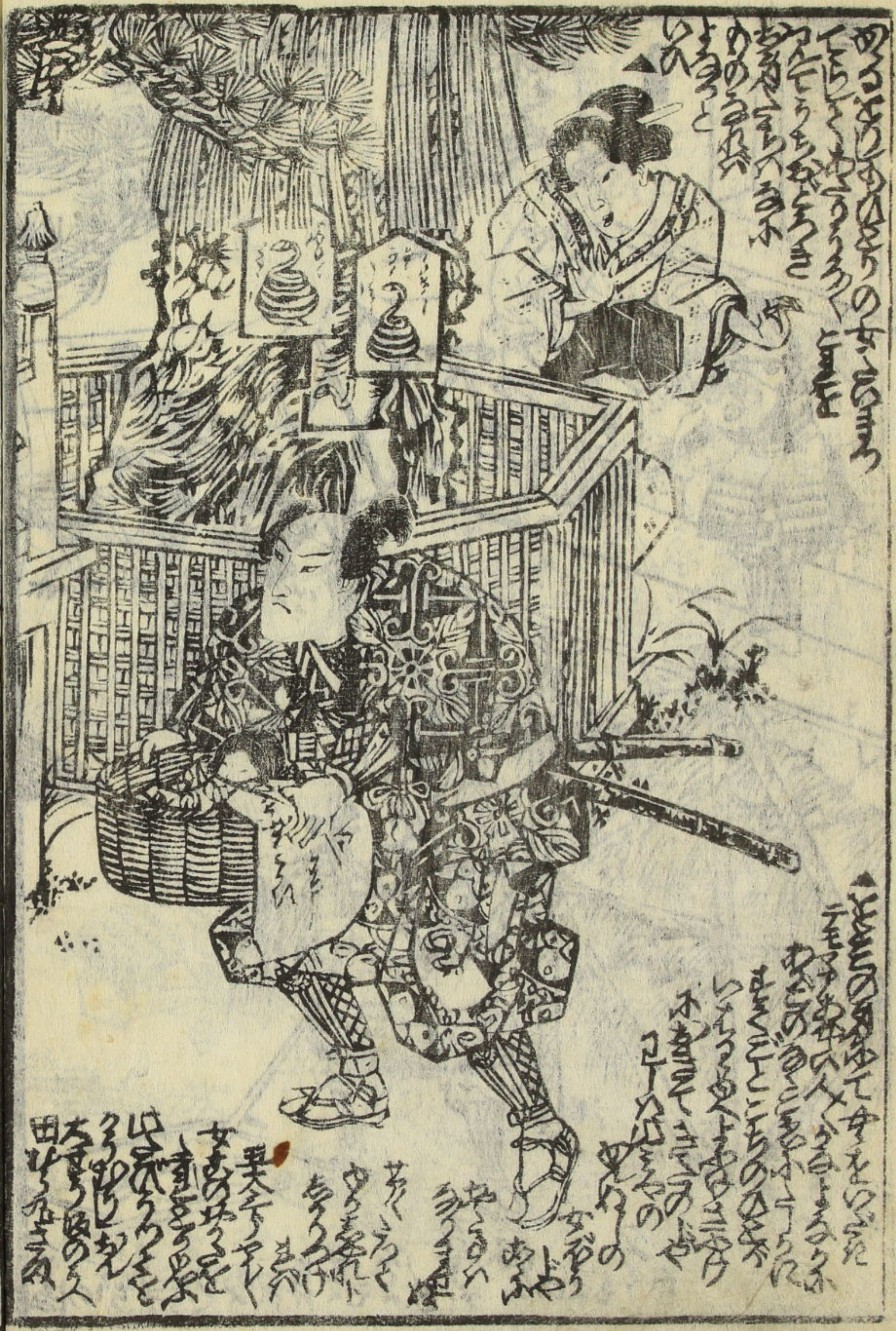


此の
 名も
 あり
 其の
 名も
 あり
 其の
 名も
 あり
 其の
 名も
 あり
 其の
 名も
 あり



源氏物語
 藤原の御
 御子の御
 御子の御
 御子の御

源氏物語
 藤原の御
 御子の御
 御子の御
 御子の御



源氏物語
 藤原の御
 御子の御
 御子の御
 御子の御

源氏物語
 藤原の御
 御子の御
 御子の御
 御子の御



